

地域の交流拠点が完成 長部地区交流センター

長部地区交流センター（15区公民館）がこのほど完成し、3月30日に落成しました。

建設場所は長島字竜ヶ坂の旧長部小学校跡地。木造平屋建てで、床面積は約190平方メートル。滝の沢、竜ヶ坂両公民館の老朽化に伴い、両公民館機能と長島地区北部の長部地域の交流機能を併せ持つ施設として建てられました。

建設費は約2700万円。宝くじの普及広報を目的とする財団法人自治総合センターの「コミュニティセンター助成事業」助成金1400万円を活用し、残る1300万円を地域の皆さんが負担しました。



待合時などに利用して 毛越寺駐車場に休憩所

町営毛越寺駐車場の休憩所が3月5日に完成し、観光客のバス待合時や、観光合間の休憩時などに利用されています。

木造平屋建て約49平方メートル。外観は隣接するトイレに調和するよう配慮。施設内にはベンチとテーブル、手洗い場を設けました。建設費は約530万円。



災害時は無料提供 役場に自販機設置

災害時に無料で飲み物を提供する自動販売機1台が4月18日、役場に設置されました。平時は通常の自販機として使用されますが、災害時にはキー操作で無料提供に切り替えることができます。清涼飲料水などを製造・販売する業者が設置。飲み物約500本を収容することができます。



接続部の工事が終了 中学校線とバイパス

太田川沿いの町道中学校線と国道4号平泉バイパスの接続工事が終了し、3月31日から通行が可能になりました。通学路、生活路線として重宝されています。

中学校線のうち、今回整備が終了した区域は太田川左岸の堤防上の延長0.6キロメートル。長島地区から平泉中に通う生徒の通学路、バイパスと町中心部を結ぶ南側路線として町が整備を進めてきました。

バイパス拡幅など接続工事は、町が国交省東北地方整備局に委託し実施されました。

釈迦の誕生を祝う 「中尊寺花まつり」

中尊寺恒例の花まつりが4月20日、平泉郷土館で開かれました。

花まつりは4月8日のお釈迦様の誕生日を祝うもので、お釈迦様の生まれ変わりである白い象に、甘茶をかけて祝う行事です。

会場には、まつりを待ちわびていた親子連れなど約100人が詰め掛けました。子どもたちは中尊寺僧りよをはじめ、修紅短期大学生や商工会青年部員、2区青年団体の関山会会員などが企画した劇やゲーム、クイズやダンスなどを、元気いっぱい楽しんでいました。



憩いの場目指し整備 駅前ポケットパーク

町民有志らによるJR平泉駅前ポケットパークの整備作業が4月19日に行われました。観光客らの憩いの場を目指すことを目指し、公園内に樹木を植えました。

平泉駅前振興会員をはじめ町民ら約30人が参加。約230平方メートルある公園にドウダンツツジなどを植樹したほか、未舗装部分には丁寧に芝を張りました。

今後も同振興会が中心となって日常的な管理をし、観光客らに喜ばれる公園を作り上げていきます。



児童、生徒の事故防止を 母の会連合会が啓発活動

町交通安全母の会連合会（千條トシ子会長）は4月2日、交通安全啓発活動の一環で、黄色い帽子など交通安全グッズを町内の3校に贈りました。

贈ったのは小学生用の黄色い帽子80個、ランドセルカバー80枚、中学生用の夜光反射材100枚。平泉小、長島小、平泉中の新1年生に配られました。



岩大留学生が平泉体験 法話や座禅など通して

岩手大学で学ぶ中国やロシアなどからの留学生15人が4月19日、中尊寺や毛越寺を訪れ、仏教文化や平泉の歴史に触れました。

平泉国際交流協会などが初めて企画。一行は中尊寺で山田俊和貫首の法話を聞いた後、金色堂などを見学し、毛越寺では座禅も体験しました。